

石狩低地帯“消えゆく湿原の蘇生” 全国表彰 環境カウンセラーの活動 坂元直人さん(事業者部門)

第1回環境カウンセラー環境保全活動表彰(2019年)【自然共生社会貢献賞】

受賞理由

つなぐ 企業内環境コンサルタントとして、発注者を始め業務で関わった地域の様々な**環境主体をつなぐ**活動を展開。

守る 地域の多様な環境主体と連携して石狩平野の**希少植物種の位置情報をデータベース化する**などの活動は、全国の企業内環境カウンセラー活動の模範ともなる。

取り組みの背景

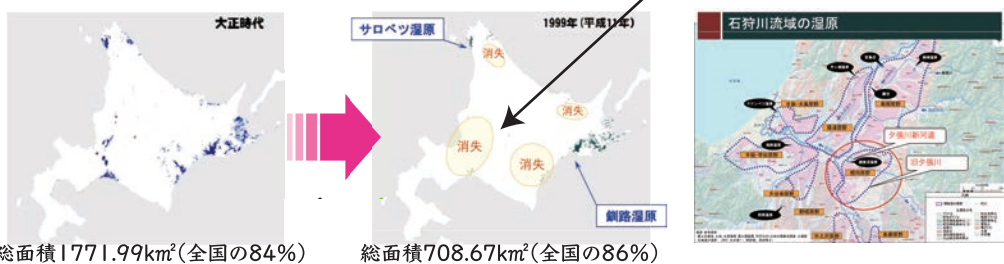
※1 淡水の供給源、食料供給源、汚れた水の浄化、河川の氾濫を抑えるなど自然の緩衝材、炭素の貯蔵、生物多様性の維持など

湿地の働き^{※1}は、**とても大きい!**

湿地が**大きく減少**

石狩平野の湿原植生は、**ほぼ0.1%に!**

北海道の湿地面積の変化^{※2}



■大正時代に比べ、20世紀末の1999年の時点で、約60%の湿地が減少

■石狩・十勝・オホーツク地方の湿地は、ほぼ消失した。※2:国土地理院 湖沼湿原調査結果HP 2000



坂元直人さん経歴

- 1986.3 茨城大学農学部農業工学科卒業 ○1986.4~1991.1 株式会社クボタ
- 1993.3 株式会社エコテック入社
主に河川環境整備事業に伴う環境保全検討に従事
- 2011.4 環境カウンセラー事業部門登録
- 2018.8 株式会社エコテック 専務取締役 現在に至る

湿地とは...

常時あるいは季節的に水をたっぷり含む土地、あるいは水で覆われる土地のこと。

沿岸の湿地(塩性湿地、マングローブ、藻場、サンゴ礁など)、内陸の湿地(氾濫原、川、水、沼地、泥炭地など)がある。

湿原とは...

湿地草原。泥炭が堆積した上に形成される。

■湿地の成り立ち

1 初期段階



自然堤防 後背湿地
ヨシ、スゲ等が枯死して沈積し、**低位泥炭地**を形成。

2 後期段階



自然堤防 後背湿地
地表水位以上の位置まで地盤が高くなると雨水涵養性の環境となり、ミスゴケ属等が優占する**ボッグ**が形成される。→**高位泥炭地**を形成。

湿原	主な優占植物	基盤となる泥炭
フェン(与低層湿原)	ヨシ、スゲ	低位泥炭
中間湿原	ウツギ、スミガキ	中間泥炭
ボッグ(与高層湿原)	ミスゴケ	高位泥炭



取り組み

幌向湿原の名残の再生

- ・泥炭採取跡地で、湿原再生の可能性を調べ、泥炭層を保全。
- ・希少植物を調査。

協働による調査・研究・保全活動



環境調査でミスゴケ発見



・ミスゴケ・高層湿原植生の代替移植を兼ねた再生試験を行う。

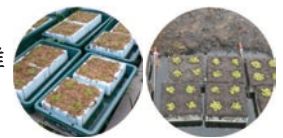
湿性植物の絶滅回避のための調査



ホロムイリンドウ

モウセンゴケの花

緊急避難



幌向自然再生地で、ミスゴケ移植体験

